

政府が国民一人あたり1万2000円を支給する方針を決めている「定額給付金」の総額約2兆円は、兵庫県の2008年度当初予算(約1兆9762億円)と同規模だが、庶民にはどうもピンと来ない。その額の意味を今一度、考えてみよう。

紙幣を印刷する独立行政法人の国立印刷局などによると、2兆円分の1万円札を横に並べると約3万2000キロ。北方領土の択捉島から沖縄・与那国島までを5往復し、積み上げると高さ2万円で成層圏に達するという。途方もない額だが、給付金以外でどのような使い道が考えられるだろうか。

厚生労働省によると、昨年10月から今年3月までに職を失ったか失うこと

給付金の2兆円何でできる

定額給付金 来月1日時点の年齢を基準に、65歳以上と、18歳以下は8000円を上乗せ。子ども2人の4人家族で受取額は計6万4000円。市区町村から全世帯に郵送される引換券を持参して給付金を受ける。市区町村などの事務経費(約825億円)も含め、全額国費で負担する。給付の日程について総務省では、「第2次補正予算案が国会を通過してから」としており、まだ決まっていない。



- 2兆円で実現可能な施策等 ※用地費は除く
- ・年収200万円の雇用を100万人(1年間)
 - ・全国の公立小中学校の芝生化、太陽パネル設置
 - ・小学校教員約28万6000人を増員(1年間)
 - ・H2Aロケットを200本製造と打ち上げ
 - ・片側2車線の道路約400キロ(東京-岐阜-関ヶ原)※
 - ・海上保安庁の巡視船400隻
 - ・東京湾アクアライン1.5本
 - ・イージス艦14隻(現在は6隻)

まっとうな非正規労働者は約8万5000人と推計されている。総務省の労働力調査では、派遣社員133万人のうち84万人が年収100〜299万円だったこ

とから、年収を1人200万円とすれば1年間で100万人の雇用を創出できる。保育園の待機児童も一気に減らせる可能性がある。

厚労省によると、全国の待機児童数は約2万人(昨年4月1日現在)。定員40人の公立保育園を3億円で建設し、4人の保育士をそれぞれ年収300万円で雇うと仮定した場合に、2万人の待機児童を受け入れ可能にする費用は単純計算で1560億円。建設費や保育

士数などをより多く見積もったとしても、2兆円あればなんとか足りそう。

「日本中の小中学校を工学校に変えられる」と語るのは文部科学省の若手職員。公立小中約3万2500校の運動場をすべて芝生にし、屋根に太陽光パネルを設置しても1兆6700億円だ。すべての工事をしてもお釣りがくる」と話す。2010年度完成予定の国際宇宙ステーションの日本の出費は6000億円。

「2兆円あれば、日本が宇宙開発のトップに躍り出られる」と文科省幹部はため息を漏らす。

最近になって麻生首相は、給付金による消費刺激の効果を強調するようになった。確かに、1999年に予算総額7000億円で商品券の形で配られた「地

域振興券」では、当時の経済企画庁が「新たな消費に2000億円が回った」と分析していた。ただ、定額給付金の効果の見直しについては、専門家の間でも見解が分かれている。

今の時代、1万2000円をありがたと思う人がいるのは当然。ただ、ま

とまった額を政策投資した場合の「公共の利益」も捨てがたいような気がする。(石川純、関連記事4面)